



しあわせ信州

農業就労チャレンジ事業報告資料



農業と福祉の連携から融合へ



～コーディネーターの役割編～

特定非営利活動法人
長野県セルプセンター協議会

沖村 さやか



©2016 sayaka okimura



しあわせ信州

～農業とは～



©2016 sayaka okimura



しあわせ信州

1 食料を供給する

2 ・洪水防止・土砂崩壊防止・土壌浸食防止・水質浄化・大気調整・生物多様性保全・土地空間保全・社会を振興する・伝統文化保全・人間性を回復する・有機性廃棄物分解機能・資源の余分な集積、収奪機能等々





しあわせ信州

～障がい者事業所とは～



©2016 sayaka okimura



しあわせ信州

1 一般企業への就職が困難な障がいを持たれる方々に 就労機会を提供

例：部品の加工、製品に刺繍をするなどの手工芸、
パンやクッキーなどのお菓子作り、飲食店での調理、
衣類やリネンなどのクリーニング、官公庁の清掃、**農作業**等

2 生産活動を通じて、知識と能力の向上に必要な訓練などの 福祉サービスを提供



施設内就労の農業

- ・障がい者施設が耕作放棄地等を借り

自ら農業を経営

施設外就労の農業 (長野県では多い)

- ・農業者へ障がい者施設の利用者と職員が

労働力を提供





しあわせ信州

～農業就労チャレンジ事業とは～



©2016 sayaka okimura

利用者



障がい者事業所
職員



プラス



利用者



利用者



農業就労チャレンジサポーター

時給1,000円 最大100時間まで
農業就労チャレンジ事務局から謝金
(自己負担不要)

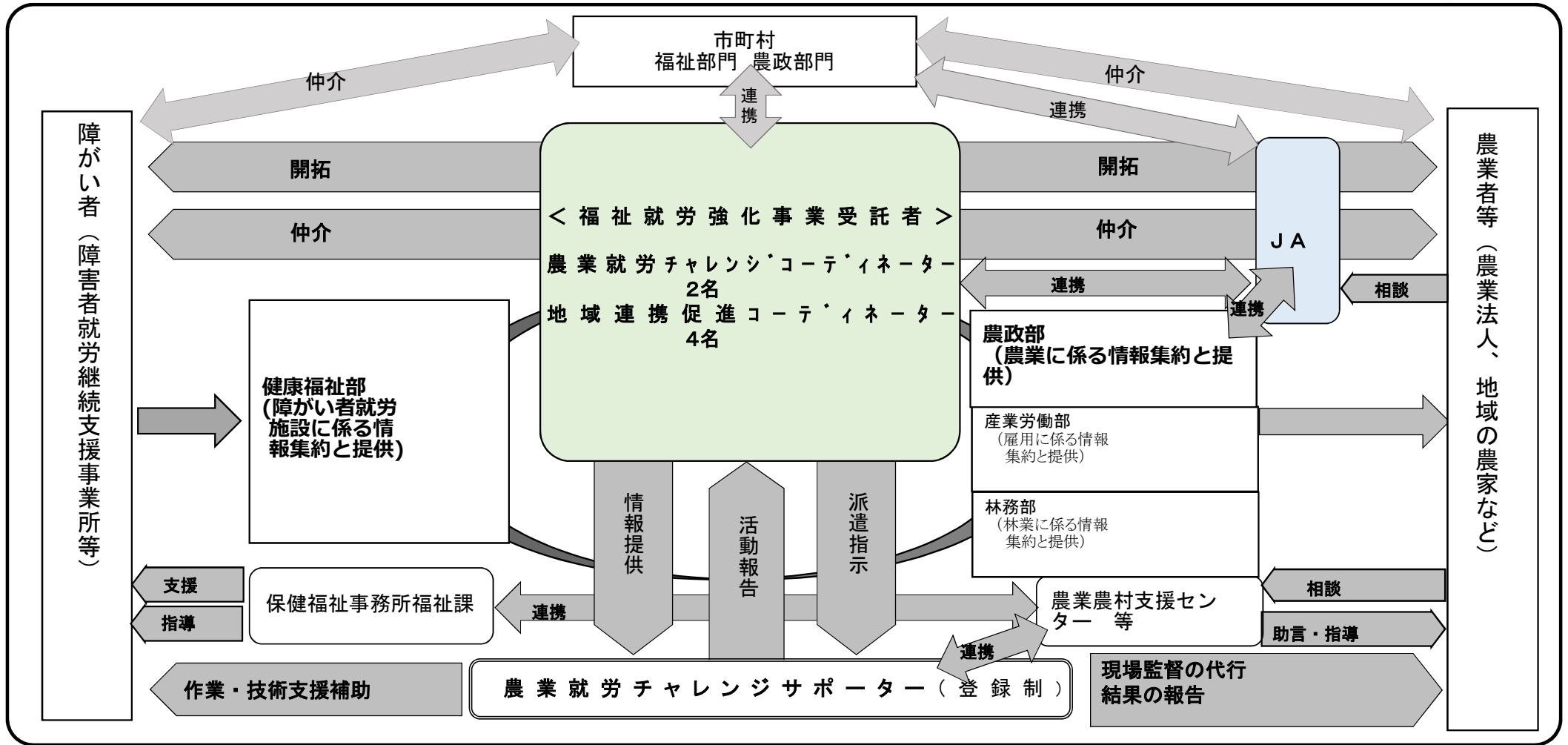




令和3年度からのプロジェクトフロー



しあわせ信州





令和3年度農業者ベースマッチング状況



・施設外就労 サポーターあり

38件

(新規 18 継続 20)

サポーターなし

19件 (新規)

・施設内就労 サポーターあり

9件

(新規 4 継続 5)

・把握している農福連携工賃 (R2)

27,086,722円



しあわせ信州

～施設外就労のメリット～

©2016 sayaka okimura



農業者側



- ①障がい者の訓練目的のため、人件費が比較的安価
- ②障がい者事業所内で農業に適した人選
- ③通年ではなく、除草、収穫作業等繁忙期のみの作業委託が可能
- ④事故に対する保険等は障がい者事業所でかけているので、安心
- ⑤作業に合わせた人工対応により、短時間で作業が終了
- ⑥作業効率を考えた新たな手順の発見



障がい者事業所側



- ① 農業者から事業所の職員への直接指導で、農業技術の習得が可能
- ② 自主生産ではないため、設備投資、在庫管理、販路開拓が不要
- ③ 労働力が直接工賃に反映
- ④ 室内作業より、時給換算すると高額
- ⑤ 地域で作業を行うことにより、コミュニケーション力の向上
- ⑥ 障がいがあっても、社会貢献できるという自信
- ⑦ 厳しい自然条件の中利用者同士で協力することで仲間意識の高揚と共感





工賃の事例

◎収穫作業

・市田柿	20 kg	680円
・ジュース用トマト	20 kg	320円~400円
・ミニトマト	1 kg	33円
・ほうれん草	1 kg	50円
・きゅうり	1 kg	30円

◎ その他作業

・畑の除草	10aあたり	3,000円~10,000円
・マルチあげ	10aあたり	2,100円
・トマト畑の収穫後の片づけ	10aあたり	5,300円
・ぶどうの剪定枝の棚卸しと片づけ	10aあたり	5,300円
・長芋畑の棚壊し	10aあたり	3,600円
・玉ねぎの定植	1本あたり	3円

※一般的農作業で利用者1名1時間 → 450円~1000円目安
 時給表記できないので、契約書には、1ユニット(〇名) 〇〇〇〇円が



歩合制の特徴



- ① 農業者は、ワンポイントの作業に利用
(除草作業、収穫作業等)
- ② 障がい者事業所は、人数により工賃の調整
- ③ 障がい者事業所が、手順を考えることにより、作業が
苦手な利用者も参加可能
- ④ 作業内容によって、適正な工賃を決定



固定制の特徴



- ① 農業者は、作業内容が変化しても、安心して事業所に委託可能
- ② 障がい者事業所の安定した施設外就労先
- ③ 農業者、障がい者事業所両者工賃計算が安易



令和3年度平均工賃実績（1か月）



長野県内B型事業所平均工賃

16,153円

農チャレに参加事業所平均工賃

17,396円





しあわせ信州

～コーディネーターの役割～

©2016 sayaka okimura





しあわせ信州

- 1 事業の内容を理解し、農業者、事業所、両者に説明**
- 2 マッチング後のストーリーをある程度、予測**
- 3 産業を超えた多様なネットワーク、人脈を駆使**
- 4 コミュニケーション能力の活用**





しあわせ信州

～マッチングの準備～



©2016 sayaka okimura



しあわせ信州

- 1 農業者に会い仕事内容の把握、人となりを理解**
- 2 過去の事例を伝え、農業者、障がい者事業所に工賃等について、根拠を説明**
- 3 農業者、障がい者事業所の両者の情報を共有**





しあわせ信州

～マツチングのポイント～



©2016 sayaka okimura



- 1 **工賃**は農業者側と事業所側両者にメリットがある両者が納得できるように契約。
- 2 初期は状況に応じ、素早く対応すべく、あらゆる**情報**を入手。
- 3 **サポーターの要否はケースバイケース**。
- 4 福祉事業所側には、無理をさせず身の丈に合った仕事にし、やる気を起こし、伸びしろをアップ。



しあわせ信州

～コーディネーターの姿勢～

©2016 sayaka okimura





- 1 現場の希望がない限り、基本指導はせず誘導
- 2 農業者、事業所に対し自分の意見は押し付けずあくまでも決定権は現場
- 3 常に並走する必要はないが、問題解決する際は第三者の重要性を認識



～施設外就労事例～



【事例 1】 施設外就労～サポーターあり～

○ 施設内就労から施設外就労へ

高齢化した市田柿農家へ収穫作業に (10月下旬～11月中旬)



・事業所： 紙ふうせん、ほか7事業所（就労B型） 【下伊那郡】

・農家/農園： JAのDMサービス、(株)アドバンス、(株)市田柿本舗ぷらう

・作業内容： りんごの出荷センター、大根の委託栽培、柿の収穫・運搬

・収穫期 2週間程度で、下伊那地方7事業所全体で350万円位

・利用者は秋になると土日も出勤し、1日中作業をしてボーナスを貰うことが喜び



©2016 sayaka okimura

【事例 2】 施設外就労～サポーターなし～

○ 施設内で桑の実栽培。施設外就労で、草刈り隊 刈払い機を使用して（5月下旬～9月中旬）



- ・事業所： エリスン【上田市】
- ・農家/農園： とのしろ豊穰館
- ・作業内容： 田の畔の草刈り
- ・ 毎回10人前後投入。
- ・ とのしろ豊穰館とは協力してマルシェへの参加



©2016 sayaka okimura

【事例 3】 施設外就労～サポーターなし～

○ 障がい者用 6レーン新設 JA松本ハイランド りんご出荷作業 （9月～12月）



- ・事業所： エフォート・マシュマロ・ちゅーりっぷほか 【塩尻市・松本市】
- ・農家/農園： JA松本ハイランド



【事例 4】 施設外就労～サポーターなし～

○ コロナ禍で室内作業が減り、農作業再開 ワイナリーの除草作業（5月～11月）



- ・事業所： みすみ草【小布施町】
- ・農家/農園： 小布施ワイナリー株式会社
- ・作業内容： ぶどうの木の根元の除草作業

- ・週2日の定期的な除草作業
- ・将来はワインを事業所でも販売したい



©2016 sayaka okimura

【事例 5】 施設外就労～サポーターあり～

○ JAあづみの仲介 いちごの栽培作業

安曇野いちご農家 時給制（4月～11月）



- ・事業所： エコミットあかしな【安曇野市】
- ・農家/農園： 堀井勇司・細萱壮大ほか（いちご農家）
- ・作業内容： 土入れ・定植・除草・ランナー取り等

- ・ 5つほどの農家を月曜日から金曜日まで
- ・ 時給750円の高工賃



©2016 sayaka okimura

【事例 6】 施設外就労～サポーターなし～

○ 高齢化により栽培が難しくなった圃場を借りて りんご栽培全般（通年）



- ・事業所： (株) ひだまり 【松川町】
- ・農家/農園： (株) ウィズファーム
- ・作業内容： りんご栽培全般



- ・農作業に関わる作業についての利用者の工賃平均は2万円後半
- ・圃場は、借りているものも含めて1.7町歩

©2016 sayaka okimura

【事例 7】 施設外就労～サポーターあり～

○ 施設外就労の受け入れから自ら障がい者事業所の開所



きゅうり・ミニトマト・ほうれん草・小松菜 (通年)

- ・施設外事業所： いなりやま共同作業所、うたびの丘
クロスロード エコファミリー【長野市】
- ・農家/農園： 多機能事業所 信州ふれあいの森
(有)信州バイオファーム
- ・作業内容： きゅうり・ミニトマト・アスパラガス・ほうれん草
こまつ菜収穫作業ほか



- ・ミニトマト 36円/kg
- ・きゅうり 30円/kg
- ・こまつ菜 40円/kg



【事例 8】 施設外就労～サポーターなし～

○ ノウフクJASを取得 株式会社 柿の木農場 エノキ栽培（通年）



- ・事業所： 障がい者継続支援A(ツラナシ)、B型（どんぐりファーム）移行【長野市】
- ・農家/農園： (株)柿の木農場
- ・作業内容： エノキたけ栽培
- ・令和3年度にノウフクJASを取得（長野市農政課の補助金を使用）
- ・昭和62年より障がい者を雇用



©2016 sayaka okimura

【事例 9】 施設外就労～サポーターなし～

○ 株式会社 アドバンス 年末の繁忙期の大切な働き手として 加工用ネギのトリミング作業（通年）



- ・事業所： 障がい者サポートセンターここねっと、(株)HERT多機能型【飯田市】
- ・農家/農園： (株)アドバンス
- ・作業内容： ネギのトリミング作業
- ・きっかけは高森町の障がい者事業所に大根の栽培を委託
- ・歩合制kg〇〇円で契約



©2016 sayaka okimura

一般的な施設外就労と比べて

・ホテル、官庁等の清掃のように、通年安定した作業が困難

でも…

- ・農業者の喜ぶ顔を利用者も職員も見ることが可能
- ・違う作業を依頼されたり、販売支援も可能
- ・作業の中断があっても作物の成長を実感



～課題～



農業者側から



① 繁忙期の人手不足

定植、収穫等時期が限られている作業は、毎日お願いしたいし、半日ではなく、1日中働いて貰いたい。

② 作業時間のズレ

夏場の早朝の作業は、時間をこちらに合わせて欲しい。



障がい者事業所側から



しあわせ信州

① 事業所の人手不足

工賃アップはしたいが職員の手が足りない。



② 作業時間のズレ

午前9時～15時30分の間なら対応はできるが、その時間帯からずれると職員や利用者の負担となる。

③ 障がい特性の理解

最初スキルの習得に時間はかかるが、なれば逆にミスが少なく根気のある利用者もいるので理解して欲しい。

両者の課題を受けて



① 労働時間

・長時間労働して欲しいとの要求は、事業所内で午前組、午後組で対応、或いは、複数事業所で参加し、単独事業所の負担を軽減

② ゆとりのある契約

・“○月○日までに除草する”等、時間的にゆとりを持たせることにより、プレッシャーを与えるタイトな契約を回避し、職員の手の空いた時間に行う

③ その他

- ・マッチングする場合は、名産品⇒地域の中での一体感⇒働く場所の増加⇒スキルの向上
- ・施設外で農作業していたものは、農チャレをきっかけに契約を見直す。



しあわせ信州

～継続の

ために気を付けていること～



©2016 sayaka okimura

① 現場（千差万別）を尊重

- ・施主であるJAや企業や農業者を尊重した上で、障がい者事業所利用者の存在価値を地域にPR



② 成長を促す

- ・障がい者の作業の技術支援やアドバイスを行うサポーター等を活用し、実力と自信を手に入れて、農業への定着を目指す。

③ 職員のやる気

- ・現場のリーダーである福祉事業所職員に、夢を持って貰う。
(客観的に見た仕事の価値、利用者の工賃向上、マルシェの利用、ビジネス等)



○ マルシェの活用

主な一般の販売会への参加

- ・F&Aキッズフェスタ,2016、2017,2019 【日比谷】
- ・一般財団法人 日本パラスポーツ機構 【上野】
- ・ノウクマルシェ in karuizawa【軽井沢】
- ・太陽のマルシェ 【勝どき】
- ・ノウク新春大感謝祭 【京都】
- ・全国ふるさと観光物産展 【大阪】
- ・長野都市ガス展 etc.



©2016 sayaka okimura



しあわせ信州

～農福連携とは～



©2016 sayaka okimura

ソーシャルビジネスでは？

- ・解決が求められる **社会的課題に取り組む** こと。
- ・ビジネスとして **継続的に事業活動** を進めていくこと。
- ・新しい仕組みを開発・活用し **新しい価値を創出** すること。



しあわせ信州

～農業と福祉 連携から融合へ～



©2016 sayaka okimura



本来の目的と プラス 共通の

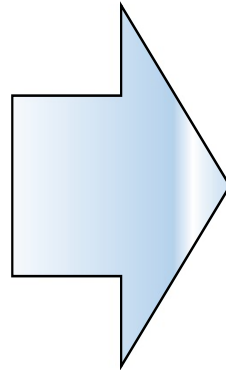
価値観 の共有





農業の特徴

- ・季節による同一作業
- ・温度や天候に左右
屋外の重労働
- ・一定面積の耕地に比較
的多くの人手と肥料を使っ
た集約農業etc.



効率化の必要性

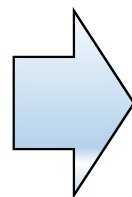


障がい者事業所の作業の特徴

利用者にあった仕事

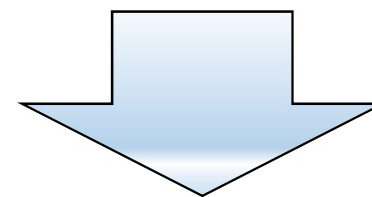
利用者の心地よい空間

室内の軽作業etc.



低工賃だと、事業所存続
が困難⇒

多人数の施設外就労に
より、工賃アップ



効率化の必要性

農業と福祉 共有の価値観

- 作業の効率化
- ブランディング
- 地域を盛り上げる etc.



しあわせ信州

～農福融合から生れるもの～



©2016 sayaka okimura

異なるものが交わる時

通訳・コーディネート



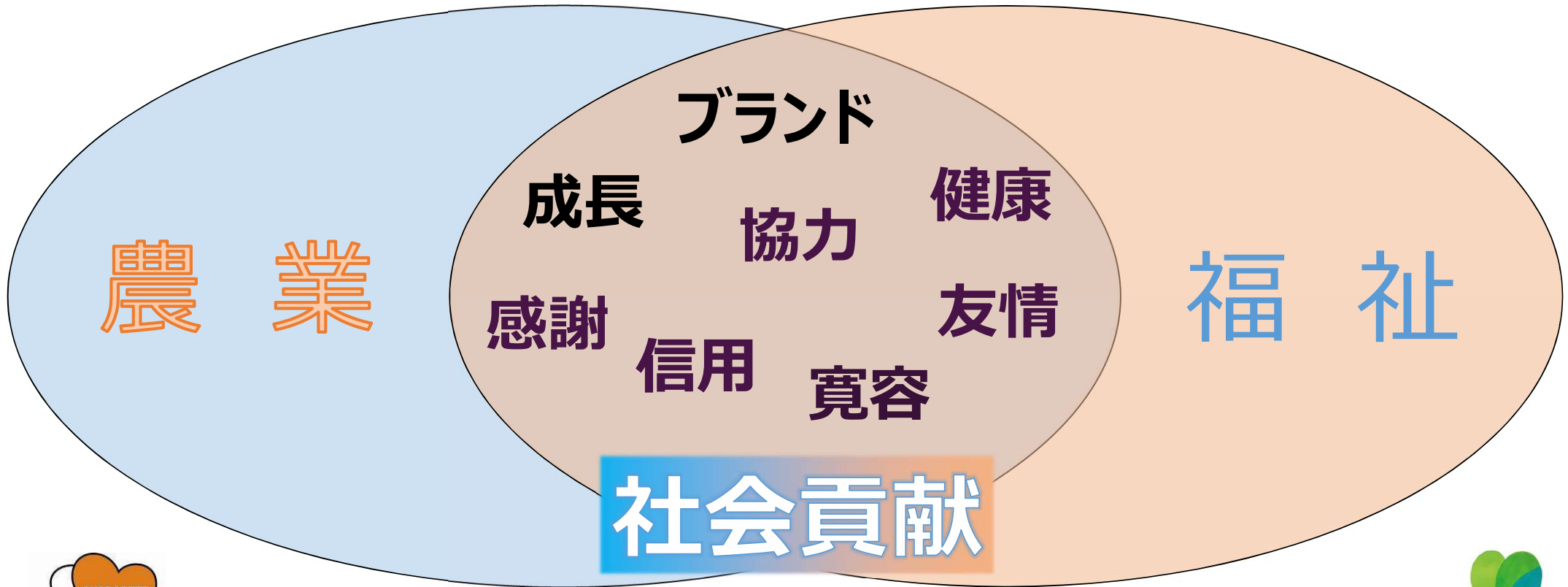
イノベーション



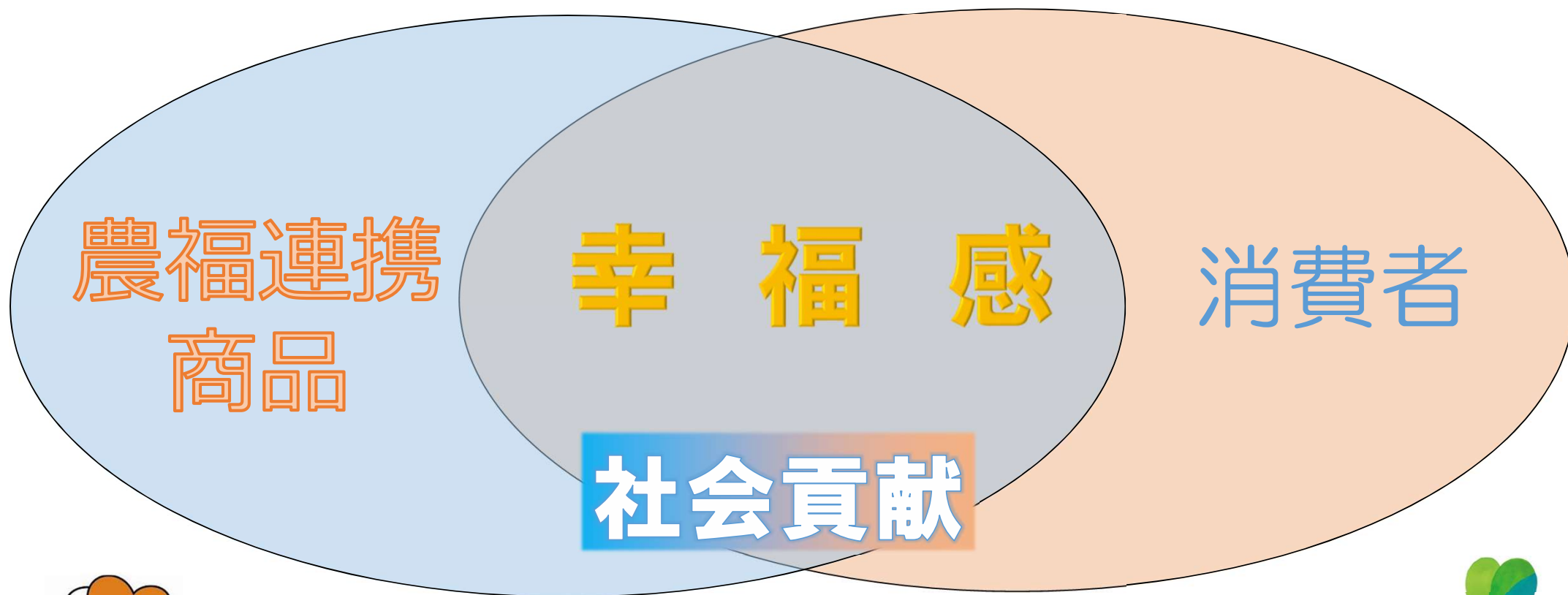
©2016 sayaka okimura



ふれあい



みんなのしあわせ



©2016 sayaka okimura





しあわせ信州

- **継続は力なり**
- **仕事とは社会貢献**
- **障がい者、健常者が農業を通し 交流 共生**
- **農業、福祉の枠を超え 企業 とも仕組み作り**

SDGs

©2016 sayaka okimura





しあわせ信州



©2016 sayaka okimura